

平成 29 年度

自己評価表

学校法人 愛知理容学園
アリアーレビューティール専門学校

1. 学校の教育目標

- 礼儀正しい人材の育成
- スペシャリストとしての即戦力となる人材の育成
- 就職、各種検定の全員合格

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 国家試験100%合格の継続
- 競技大会上位入賞
- 接遇マナー習慣づけ
- 清掃・整理整頓

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の理念・目的・教育人材像は定められているか	4
学校における職業教育の特色は何か	4
社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	2
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

- 本校の目的は、アリアーレビューティール専門学校学則および学校法人 愛知理容学園寄付行為に「教育基本法に則り学校教育法並びに理容師法、美容師法に基づき、理容師・美容師の養成に関する教育を施すことを目的とする。」と明確に定めている。
- 上記の目的に沿って、教育理念・教育方針（建学の精神）は、次のように明確に定めている。
 1. 私達は社会の一員として広い視野と教養をもって「人間の美を創る」ことにつとめます。
 2. 私達は常に一層高い技術と洗練された感覚をもって文化と公衆衛生の向上につとめます。
 3. 私達は和をもって団結し、真と善をもって人に接し、平素の修養を怠りません。
- 具体的な養成しようとする人物像は、理容科では、
 1. 一生涯理容師として活躍できるよう技術だけでなく強い意思

2. 如何なる仕事でも工夫して良い仕事にしていく気持ち・考え方
3. 常に向上心を持つこと

美容科では、

1. 多くのお客様に支えられる美容師としての人格形成
2. 生涯を通じて土台となる基礎技術の習得
3. 国家試験を全員取得し、サロンの即戦力となる力をつける
と定めている。

- 超高齢化社会に対応するため、「訪問福祉理容・美容事業の推進」を業界全体が取り組む中で、本校でも障害者・高齢者福祉施設入所者の皆さまに施術サービス等さらなる美しさを提供しているが、それが学校としての将来構想なのか、単なる単年度事業に過ぎないのか法人としての結論が見えない。

(2) 学校運営

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
目標等に沿った運営方針が策定されているか	3
運営方針に沿った事業計画が制定されているか	3
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	2
人事、給与に関する規定等は整備されているのか	2
教務・財務等の組織整備等意思決定システムは整備されているか	2
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

- 人事・給与に関する制度は整備され、就業規則など各種諸規程で一定要件は定められている。しかしながら、業務内容・実績等による人物評価、賞与・昇給に反映させる基準、任せる業務の難易度を人事担当者がどう把握するか等が、明確になっていない。29年度、就業規則の見直しを進めたが、組織体制の強化および業務分担や決定権限の範囲を明確に盛り込み、学内ルールの規程等による明文化が完全とは言えない。
- 実際の運営に関しては、目標、事業計画等に関連させて優先順位を検討した上、理事会の承認を得て実施している。
- コンプライアンス体制については外部有識者による委員会を整備し、全教職員は職務に係る倫理を自覚し、学生、卒業生、保護者並びに地域社会から信頼と尊敬を得るため

に自律的に行動することを目的として、この行動規範を定めコンプライアンス宣言を行いホームページ上で公開している。

- 情報システムについては、学籍管理システム、財務会計システム等により効率的に運用している。30年度からは日々の授業や学習の記録を蓄積する機能や、先生同士・先生と生徒、保護者の間で使えるコミュニケーション機能がついた進研アド「Class I クラッシー」を導入予定。授業素材（動画等）を生徒に提示したり、生徒の意見や制作物を集約、生徒にテスト問題（Web テスト）を配信するサービスを開始する。また保護者においても子どもの学校での成績や学習状況について確認でき、先生とのコミュニケーションも可能になる。
- 日々の教育活動については、月曜日～金曜日まで学校HPにおいてブログ・FBを活用して情報公開をしている。また年2回学園新聞を発行し、保護者・地域住民・高等学校等へ配布している。

（3）教育活動

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連帯により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育（産学連帯によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	3
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確になっているか	3
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3

関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

- 教職員研修に関しては、就業規則第 23 条第 10 項に「教員は専攻分野における実務に関する研修等や指導力の修得・向上のための研修等を、教員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて受講しなければならない。」と定められている。教職員研修規則も整備されている。
- 当然のことではあるが、教育機関の使命として、「国家試験全員合格」「競技大会上位入賞」「マナー習慣づけ」「整理整頓」を目標に掲げ、個々の学生に対して習熟度・理解度を把握し、入念なサポート体制を確立しているが本人等の意欲の問題から継続して技術アップ等の落とし込み・練習ができていない面もある。
- 教員についてはより一層、人員確保に取り組んでいます。研修にも積極的に参加し、能力開発にも努めています。(29 年度は新たに名古屋市教育委員会の方に来ていただき、「特色ある教育と開かれた学校づくり」をテーマにお話しいただく。特色ある学校づくりでは、教材「2016 なごやの学校」を使用しながら、また開かれた学校づくりでは、学校評価の事例より落とし込みを受ける。読書活動や学校開放週間の推進など、地域の実態に即した様々な学校の取り組みの報告もありました。
- 産学連携に関して、「産学連携授業」「都道府県内企業とのフィールドワーク」を念頭に、新たに「愛知県美容組合」様、「華道家元池坊」様等のご協力をいただき、幅を広げている。
- 教職員研修は実施しているものの、その効果測定は実施できていない。有効な研修であったのか、費用対効果の検証も必要に感じる。(28 年と同じ) また、人事評価をしてから研修及び研修評価につなげる(あなたは、これができていないからこの研修等)ことはしていない。教職員の能力評価を学校経営の中でやっていない。
- 全国専修学校各種学校連合会「中部七県ブロック協議会」のグループセッションにおいて、「特色ある学生募集活動について」「多様な学生の受入れ・学びの支援について」「教育体制の充実について」「専門職大学について」の講義を受ける。SNS 活用・オープンキャンパス充実、留学生支援・社会人受け入れ、教育の質保証・FD&SD 推進、設置基準(教員要件・設備要件)等の学びになる。
- 学生による授業評価等、いくつかのアンケートは実施されているが、それらの成果を分析し、教職員間で共有を図り、改善・向上に結び付ける体制の構築が必要。

(4) 学修成果

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	2
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

- 就職希望者の就職率は高く100%を維持している。学生の就職活動は1年次よりガイダンスやインターンシップを行う等、学生の就職意識を高めている。また、学生個々において将来の希望などの聞き取りを行い、内定に至るまで丁寧にサポートしている。2年生進級時のアンケートにて、就職に対する希望や不安面等の把握に努めている。
- 30年3月理容師・美容師国家試験については美容科の合格率が全国平均に届かず、良い結果とは言えない。29年3月も同様であり、学校として今後どのような対策を検討していくのか、想定外の生徒が不合格であったりし、本当にそれは「想定外」だったのか、どこにも原因や要因、責任はないのか模索中である。
- 退学率の低減については現在最重要課題としており、当校への入学に至っての経緯や、学生の環境を分析対策し、退学に至らないよう担任を中心に指導内容の改善を図る。退学者数は前年と比較して減少したが、長期休暇（特に夏休み）後に2件発生した。年2回の個別面談が定着化し、功を奏している面があると考えています。
- 本校の後援会会員のサロンに就職した卒業生に関しては、年1回総会の際に直接情報収集をしている。30年度より、就職サロン側から書面にて近況報告を求める予定です。

(5) 学生支援

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3

社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

- 就職指導は、就職担当者と担任が連携し行っています。卒業生および理容・美容業界関係者で組織する「アリアーレビューティー専門学校後援会」があり、そこが中心的な窓口となって、就職サロン紹介や就職ガイダンスを実施している。理容室・美容室関係者による就職ガイダンス・企業説明会は、学生の就職先となるサロン関係者との連携を深めることにより、多くの就職先の情報が収集できることから就職率の向上につなげている。
- 就職担当者は、各学科の学生に就職に必要な情報提供を行い、学生への個別指導等は、主に担任が行っています。ガイダンスの際、事前に就職活動に関する要望等をアンケートし、またガイダンス後も書面にて意見等を回収しています。このガイダンス結果に基づき、全学年のインターン先を決定、その後、説明会～実地訓練～就職先へと繋げていきます。
- 低所得者向けに学校独自の経済的支援として、学費延納制度を設置しています。通常2年間の授業料を卒業後2年間延ばし最長4年間で納付する制度であり、毎年利用者がいる。
- 最近、リカレント教育を希望する社会人が増えており、このニーズの対応として、厚生労働省の専門実践教育訓練給付金制度を設けている。この制度については、学校パンフレットへの掲載とともに、制度説明に特化したチラシも作成し、周知を図っています。
- 入学を希望する外国籍の学生に対しては、留学生就職アシスト事業として、日本で培った理美容技術を活かし、母国に戻って活躍できるよう、帰国準備金として帰国の際に20万円支給する体制を整えている。日本語学校出席率90%以上の学生には入学金(8万円)を免除しています。名古屋入国管理局留学・研修審査部門より「在籍管理が適切に行われていると認められる専修学校専門課程」として選定されています。理容・美容は現在、外国人就労が原則認められていないので、母国への帰還等の確認をして入学を許可しています。また、個別面談(半年毎に1度)を実施し、生活状況等を確認している。
- 障害者向け施設面として、トイレを完備している。
- 高校等の連携教育は、平成29年9月29日、科学技術学園高校と連携教育計画に関する合意書(専修学校における学修成果の単位認定)を締結。連携協力事項としては、相互間での出張授業、学生募集・人材育成その他学生の活動に関すること等が含まれる。

(6) 教育環境

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
------	----

施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災に対する体制は整備されているか	3

- 設備・機器類は教育上の必要性に対応できるように整備されている。昨今、国家試験の変更で実習室での試験ではなくホール等の大教室で行っているため、同等の環境での指導は難しい。本校以外の他の養成施設その他面接授業を行う場所として適当と認められる施設（保健所・公民館等）を模索している。
- インターンシップとして後援会サロン等に数日にわたり実務実習を行っている。その際は、管理美容師・管理美容師を調査し、適切な管理のもとにおいて行われている。また、海外研修についてはヴィダルスーンの研修をイギリス・ロンドンにて行いました。（29年同様）
- 防災・安全管理上においては、27年度は千種消防署にお越しいただき火災訓練を行い、28年度は熊本地震もあり、震災関連の避難訓練を実施、また食糧貯蔵の確認を行いました。29年度は大雨災害を想定した訓練を実施。
- 施設は充実していますが、図書館や実習室が、学生にとって平等で有効に活用されるよう工夫やメンテナンスが必要と考えている

(7) 学生の受け入れ募集

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学生募集活動は、適切に行われているか	2
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	2
学納金は妥当なものとなっているか	4

- 定員に対する充足率は、理容科 40.5%、美容科 36%（平成 24 年～平成 28 年の平均）に留まっています。低い充足率改善のために、下記のように、「地域ニーズに応える人材育成のための教育力の向上」「教育実績の発信力強化による地域・企業の巻き込み」「組織の活性化による施策実行」を最重要課題とした取組を実施した。しかし、各学科の理解と魅力・イメージを伝えきれておらず、役員を含め一丸となって改善に取り組む必要がある。次年度は在校生保護者の皆さまからも学校の魅力を伝えてもらう方法をまずは進めていく。
- 各種説明会等の参加・開催、地域活動、各種情報提供など多様な入学者確保の努力にも関わらず、理容科、美容科ともに実入学者数が入学定員を下回っており、教職員も一丸となって改善に取り組むことが必要である。

- 学生像や理容師・美容師という仕事が魅力的に伝えられるように、印刷物、Web ページなどの工夫・改善が必要。
- 地域活動はじめ諸活動の効果等を組織的分析し、教職員がそれを共有した上で、社会に向けて積極的にアピールするなど、入学者増加につながる取組が必要。
- 学納金については、教務、事務、広報それぞれの観点より適切に算定している。また、表示金額には必要材料費、諸費用を含めた明瞭なものになっている。
- 学納金返還の可否について最高裁が示した判断や消費者契約法を遵守している。
- 国家試験等の結果は%（率）だけでなく、極力実数での報告を心掛けている。

(8) 財務

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
財務について会計監査が適切に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

- 経費削減を図る一方で設備の充実と教育の強化を図りバランスをとっている。27年度自己評価にて、少子化問題、老朽化してくる施設、設備、教育上の必要性に十分対応ができるのか、また学生納付金収入に著しく偏った現在の経営では、学校運営が厳しくなることが予想され、収益事業の方向性を検討課題としたが、何ら進展しなかった。
(28年と同じ) 復職支援や短期スクール等を開催せず、減り続ける18歳人口のみを実質的な市場としている以上、中長期的に財務が安定とは断言できない。
- 外部の会計事務所より月一回会計士指導を受けながら適正な会計処理を行っている。また、法人監査についても法人監事により年三回適正に行われているが、契約金額の妥当性について理事会での審議対象が不完全で、効率的かつ効果的な予算執行の観点から十分な検討が行われているとはいいがたい面がある。
- 28年度より、部門別（理容科・美容科）の業績管理の導入は通帳を理容科・美容科、昼間生・通信生に分けたりして進めてはいるが、引き続き取り組んできました。目標及び実績の細分化は、教職員に当事者意識を持ってもらうには必要。
- 財務分析を行い収支バランスの観点からの課題（財務改善や業務改善）や学校法人としての戦略的な資源配分になっているのか、教務・広報部門の主管部門に対する事業計画・予算管理の有効性に関する監査等がなされているとは言えない。
- 財務情報の公開に関しては、私立学校法47条に基づき、利害関係者へ財務情報の公開を実施している。また、財務情報は学校ホームページに掲載し公開している。

(9) 法令等の厳守

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	2
自己評価結果を公開しているか	4

- 個人情報に関しては、生徒及び教職員に関する一切の情報の持ち出しを禁止しています。また、卒業生の学籍簿に関しては施錠した保管庫に収納しています。入学前保護者会でも個人情報の扱いは説明している。
- 個人情報の取り扱いに関して、学校HP上等で学生たちの活動の様子である写真や作文を掲載することがあります。これらはその都度、公表について各家庭の意思確認はとっていません。掲載や公表を控えてほしい際は、申し出ていただくよう、入学前保護者会や学園新聞でお願いしている。
- 自己評価に関しては実施した結果を公表するようにしています。実施規定や体制には整備の余地があります。学校概要や教育内容等の情報はWEBで公開しており今後も随時更新していきます。
- 自己評価の実施からどのような意見をどう受け止め、さらにどのように対処したかということが今一つできていない。改善したことを示さなければ教職員も意見を言わなくなる。そこで改善が止まってしまっている面がある。
- 教員の組織体制、理容・美容Wライセンスの取得規定、個人情報保護法にからむ文書管理規則等、学内ルールの整備や明文化が必要。

(10) 社会貢献・地域貢献

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

- 学校の設備や施設、教室等を外部からの依頼があれば可能な限り貸し出しに応じている。（愛知県理容生活衛生同業組合、愛知県理容美容職業訓練校等）
- 学校祭では地域住民の方を招待し、エステやネイル等の技術を一般に提供している。。

- 地域と協働する専門学校を目指し、社会貢献プロジェクトとして、福祉ボランティア 28 年 9 月より月 1 回、春日井市の障がい者施設へ卒業生とともに慰問（卒業生やサロンスタッフによるカット施術、在校生は清掃等）を行っている。在校生は現在希望者の参加だが、全員卒業までに一度は参画できるような仕組みにしたり（1 年生理容科・31 年 2 月 12 日、1 年生美容科・31 年 3 月 12 日、2 年生理容科・30 年 6 月 12 日、2 年生美容科・30 年 11 月 13 日を予定）、逆に障がい者施設の方が学校に来てもらい現場の様子を伝えていただく（30 年 9 月 5 日予定）案も出る。
- 29 年度も前年度同様、愛知県赤十字血液センターの献血施設へ出向く。ボランティア活動の中にも、40 分で助かる命があることを理解するきっかけ作りになる。
- 地域連携プロジェクトと称し、名古屋市および周辺地域の企業、団体との連携協力を維持・発展させ、アリアールの特性を生かした社会貢献を行い、地域の要望に応えるよう努めている。名古屋市今池商店街連合会と協力し、ブースを設置し「今池まつり」に参加。（28 年と同じ）保護者等からご協力していただいた不用品を販売（約 2 万円）、中部善意銀行を通じて福祉団体に寄付をする。29 年度は新たに（2 件）、愛知県瀬戸市銀座商店街のイベントに出向き（7 月 1 日 日曜）ネイルサービスを提供する。また、第 88 回愛知県中央メーデー&名古屋地協メーデーフェスティバル（栄・久屋公園）にブース参加。ネイルとハンドマッサージのサービスをする。千種区社会福祉協議会様へ赤い羽根の共同募金の協力をする。（28 年と同じ）

（1 1）国際交流

適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

評価項目	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3
留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4
留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4

- 留学生が入学するには原則として満 18 歳以上の、母国等において 12 年間の学校教育を修了した者で、且つ日本の法務省による在留審査を経て留学の在留資格を得ることが前提としている。
- 外務省領事局領事サービス室からの指導として、外国籍の方で、卒業証明書等を外国で使用する際の証明（認証）については、公証人による証明書を発行している。